

毎日 セミナー通信

第90号

発行
毎日セミナー
東京都新宿区
大久保 3-14-4

「全ての因は我にあり」
本気の努力を
積み重ねよう！
地理担当 右動 春樹

入試に向けて最善を尽くせ

「知識」を増やし「技」を磨こう

校長 平松 貞実

受験場で戦うのは自分一人である。合格に向けて最後の努力をし試験に備えてほしい。

勝利の方程式

『毎日セミナー通信』のバツクナンバーを見ると、その時々役に立つアドバイスが見つかると。今回も久しぶりで創刊号から見直したら、中村前校長が書かれた「勝利の方程式」という見出しが目についた。入試の勝利の方程式というのはどんなものかと興味津々で読み返した。ユメを持ち続けること、努力をすること、集中力を身につけること、3つのことが書かれてあった。その通りである。セミナー生にはぜひこの勝利の方程式を實行してもらいたい。

受験場である。その訓練は心身の鍛錬と技の練習の繰り返しである」と書いた。大学入試の場合、心身の鍛錬とは受験科目の知識を増やすこと、技の練習とは解答の仕方に習熟することである。知識の量に加えて解答の仕方にふれていることを注目してもらいたい。「知識の量」と「解き方」、この両方があつて初めて勝利できる。

実戦形式の練習

ずいぶん昔のことだから若い人たちにはわからないが、プロ野球の西鉄ライオンズが西武ライオンズとなったころの話である。新生西武ライオンズは広岡監督がひきいる常勝チームで注目を集めていた。その常勝の秘密を坂井球団社長から聞く機会があつた。印象に残っているのは、スカウトの時点で野球が上手い選手でなく素質のある選手を採りそして育てる、実戦形式の練習を重視している、という2つであつた。体力づくりはハードな練習で良い。しかし、ただ投げたり打ったりしているだけではよい選手は育たない、常に試合を想定した練習をすることが大切だ、ということを強調された。

セセミナー生は入学時の学力は高くないかもしれない。しかし、勉強していなかつたからであつて素質はあると言つて間違いない。なぜなら仕事と勉強を両立させる人間力を備えているのだから。知識を増やすために、しゃにむに暗記することも必要だが、問題の解き方に慣れるということも重要である。今年セセミナー生の模試の様子を何回か見たが、解き方のわかつていると思われ生徒は多くはない。これからは赤本をやりながら「技」を磨いてほしい。

頑張れ！セミナー生

頑張り！セミナー生
ほんやりしていると受験生の一年は短い。しっかりと勉強をしているとその一年は長い。短いか長いかは何年もしてから振り返つたときに分かる。私は高校生ときは勉強しなかつたが浪人時代は勉強した。それで浪人時代が一年だったとはどう考えても思えない。二年か三年ぐらいに感じる。よく勉強したからである。それにもう一つ理由があると思う。それは浪人時代、夏まで、夏、秋から冬、直前、と勉強の仕方を変えたことである。3月3日の国立一期に照準を合わせ、夏までの勉強、追い込みと変化させた。受験の様相も問題の傾向も今は全く違つてしまつていくが、浪人生の一年は区切れ」という原則は今も変わらないと信じる。セセミナー試験は1月19日、私大の山は2月中旬、これからそれに合わせた態勢に入るか、相変わらずのんびんだらりと行くかが勝敗を分ける。これまで苦労してきたセミナー生であればなおのこと、最後の頑張りをお願いしたい。

お知らせ

代ゼミ記述模試(希望者)
12月9日(日)
後期皆勤精勤表彰式
12月14日(金)・昼休み
冬休み(自習に来て下さい)
12月29日(土)～1月4日